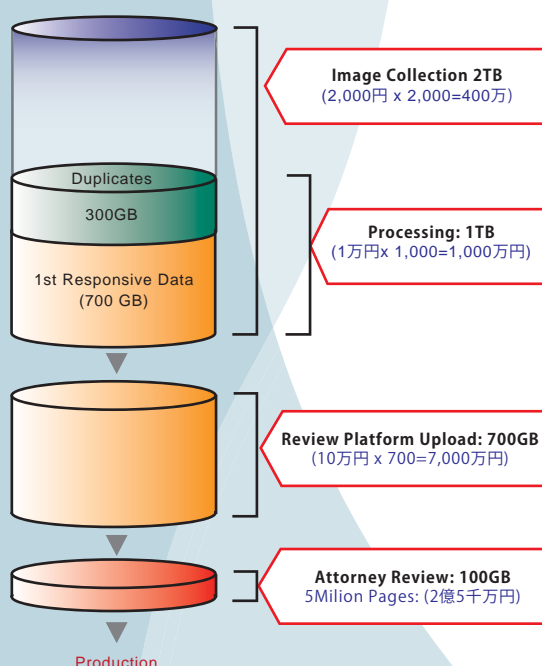


Symantec Enterprise Vault™

Symantec Enterprise Vault™ は電子メール、ファイルサーバー、IMや文書管理ソフトからデータの保管、管理、検索が行えます。それに加え、国際訴訟とコンプライアンスを支援するツールとしてDiscovery Accelerator とCompliance Accelerator のモジュールを備え法務・知財・IT部門の訴訟対応費用やコンプライアンス対応費用のコストを大幅に削減します。

1. 日本企業のコンプライアンスと訴訟対応 (eDiscovery) のコストの削減のご提案!

訴訟対応プロセス (eDiscovery) :



主要機能:

1. 電子メール (PST, NSF 等), MS SharePoint・ライブラリ, File Share (400以上のファイルタイプ対応)、IMなどの自動収集機能
2. リーガル・ホールドの自動化
3. 早期案件評価を行うことにより法律事務所と連携を取り訴訟戦略を立案
4. データ絞り込み機能とレビュー機能: 日付範囲、ブーリアンキーワードを使った絞り込み、レビュープラットフォームの性能 (COC, Reviewer rights, marking & tagging, exported to native file, MSD, NFS, HTML, PST, Ringtail, Attenex, Concordance, CT summations, EDRM XML) with bates numbering
5. 外部文書をレビューできるインテグレーション機能—共有ファイルのデータ、IM, SAP ファイル、データベース、ボイスメール等。(文書管理システムやユーザーのデスクトップにあるアクティブ・ファイルなどのデータも統一可能)
6. Automatic Classification Engine (ACE) を使用した電子メールのインテリジェントなコンテンツベースのカテゴリライゼーションとタグ付け機能

訴訟対応コスト (eDiscovery) :

| EDRM プロセス | eDiscovery作業 (eDocs & eMails) | 作業内容 <20 custodian (2TB)> | 外注作業費用 | 社内処理費用 (ツール使用) |
|--------------------|---|---|---------------------|---|
| 1. データ・マネージメント | Retention Policy, Legal Hold/Release, etc. | | 人件費 | 人件費 (80%削減) Symantec-email |
| 2. Custodianの特定と保全 | Early Case Assessment (keyword, File Type, Dates), Image, Selective Collection | 2,000GB を保全 | 400万円 | 80万円 (人件費: 80%削減) Encase, Symantec-email |
| 3. 保全データの処理 | 日付、キーワード、ファイルタイプ、などでの絞り込み、重複処理の実施 | 2,000GB (50% 減少) → 1,000GB 重複処理1,000GB (30% 減少) → 700GB | 1,000万円 | 200万円 (人件費: 80%削減) Encase, Symantec-email |
| 4. 法務のレビュー* | 社内法務・知財のレビュー レビュープラットフォームへの Export | 社内部門が独自にレビューを実行 * 4. 法務のレビューによって独自に700GBのUploadが100GBに減少 | 7,000万円 + 社内人件費 | 1,000万円 + 人件費追加費用 Clearwell, Symantec-email & eDocs |
| 5. 社外弁護士のリビュー | 社外弁護士の審査・レビュー 100ギガバイト = 150万件 (500万ページ) * 150K/120 files/hour = 1,250 hours | 700GB (全体の5%が対象と仮定) → 100GB | 25,000万円 | 12,500万円 Concordance, CT summation, TIFF, Native File... |
| プロダクション | | 裁判所提出用への加工 | Total: 33,400万円 + α | Total: 13,780万円 + α |

Symantec Enterprise Vault™

なぜ多くの企業がコスト削減を目的にアーカイブソリューションを選ぶか？



米国

- ① <例>
FRCP法令遵守、早期事例検証、リーガルホールド・コンプライアンス、マニュアルコレクションのコスト削減、重複削除、イメージング、パスワード

解析、テープ復元、社内メールや書類の探索、社内レビューのプロセッシング

*コストをコントロールするのはIT部、法務・知財部と文書管理部門です。

→これらすべての部署から高い投資利益率 (ROI) を提案できます。



日本

- ② <例>
セントライズ・ストレージ保管: メールサーバー内のPST、NSTファイルや重複したデータを排除する。長期的にコストのかからない階層化ストレージにする。

2. なぜ多くの企業がコスト削減を目的にアーカイブソリューションを選ぶか？

- ① 訴訟対応 (eDiscovery) のための法令遵守、そして電子レコードマネージメント
- ② 電子メール増大化の制御、ファイルサーバーの縮小化

3. Symantec Enterprise Vault™ の利点

- 現在の Symantec Enterprise Vault™ にアドオンができる!
- Symantec Enterprise Vault™ には簡単にモジュール追加可能!!

現在所有のデータアーカイブソリューション、Symantec Enterprise Vault™ に Discovery Accelerator と Compliance Accelerator を追加するだけで、マネージ・ドキュメント・コントロール・プロセス (リテンションポリシー、削除ポリシー、リーガル・ホールド)、コンプライアンス、訴訟対応 (eDiscovery) (早期案件評価・収集、処理、内部レビュー) を追加し即時コンプライアンスと訴訟対応 (eDiscovery) のコストの削減が可能

導入例

